

令和2年度 第1回大阪府立泉南支援学校 学校運営協議会 記録

- 1 日時 令和2年7月3日(金) 10:00~12:00
- 2 場所 大阪府立泉南支援学校 会議室
- 3 次第 司会:岩阪教頭 記録:虎野首席

- (1) 開会 校長あいさつ
- (2) 委嘱状手交
- (3) 学校運営協議会委員紹介
- (4) 事務局員自己紹介
- (5) 会長、副会長について(以降の司会は会長)
会長 小田浩伸 様 副会長 木村京子 様を選出

○授業見学(10:10~10:55)(各学部15分ずつ計45分)

山館 2F 中学部→体育館 小学部→海館 2F 小学部→山館 1F 給食室・ADL 室
→山館 3F 高等部(案内・説明各部主事)

○協議(11:05~11:35)

- ・年間協議テーマ『さらなる授業力の向上をめざして』の趣旨説明
(松浪校長)・H28「ナチュラルサポートの例」の提案から、3~4年見ていただいて
どう工夫していけばいいか、ご意見をいただきたい。
- ・授業環境の整備を行っていく。
(虎野首席)・すながわ高等支援学校との取り組み「アクティブラーニンググループ」
の整備、今後のとりくみについて報告

- ・各学部・児童生徒のようす

小学部(中野部主事) 今年度より、小1中1の泉佐野市・熊取町在住の生徒が入学し
人数増により、低学年・中学年・高学年と教育課程を整理した。
自分のことは自分で、難しいところは周りのひとに手伝ってと
いえるようになってほしい。自分のやりたい事を伝えられるよう
にわくわくした授業に取り組んでいる。

中学部(橋本部主事) 目標、学習内容の説明。心身の成長の時期、色々な事を乗り越え
て進路につなげていく。座学だけでなく色々な事につなげてい
けるように中学校の教育課程に準じて、実習を通しての学習が多
くなってきている。

高等部(佐々木部主事) クラスでは、様々な生徒と一緒に学習し、学習面では課題別の
グループで展開している。体験的な取り組みを通して自分でで
きることを増やし、他人と接しながら進路を選んでいく見通し
を大切にしている。

・意見交換

(木村委員) 信達中学校では、5クラス20人の生徒が支援学級で学習している。通常学級の中でも支援を必要とする生徒が多い。見学させていただいて、学ばせてもらうことが多かった。環境を整える大切さをあらためて分かった。今後は、どんどん交流していきたい。行事の交流よりも深くしていきたい。

(藤田委員) 6月からの学校再開でどうでしたか？

(松浪校長) 段階的な再開の様子を説明。人数の少ないところでの活動が多くなっていて、戸惑う児童生徒も多く、心のケアも必要である。校医と連携し検討中である。

(殿谷委員) すながわ高等支援学校と名前が出てきますが、どのような関係ですか？

(松浪校長) 同じ敷地・建物内にある別の学校であること、企業就労を目標とした高等支援学校であることを説明。

(出口委員) 以前より職業体験を見せてもらって、丁寧にできる。普通に作業ができるなどという印象を持っている。企業として、色々な企業に知ってもらってというところから始めて、自立に向けてどのような学びができるか考えていきたい。

(清時委員) 「コロナは怖い。たくさんの人の中は危ない。」と本人はわかっているが学校へ行きたいという気持ちを抑えながら、大きくぶれることなくすごしていた。進路で地域の学校とどちらにするか迷ったが、生きる力を考え支援学校を選んだ。授業を見せていただき、本人の能力に合った取り組みをしていただいていたので安心した。

(小田委員) アクティブラーニンググループの計画は、目標設定と成果をどう評価していくかをまとめることが大切である。今後の取り組みに期待している。

○報告 (11:35~11:55)

- ・令和2年度学校経営計画及び学校評価について

(松浪校長) アクティブラーニンググループの項目を付け加えている。

- ・令和3年度教科書選定について

(岩阪教頭) 各学部で委員会を作り、選定している。(今年度の教科書を展示)

- ・令和2年度自立活動(専任部)の教育活動について

(礒元教諭) 自立活動の説明。全校で自立活動に取り組んでいる。

- ・令和2年度高等部3年生進路先希望状況について
(高淵教諭) 今年度の進路希望状況と進路の手引きの説明。

質問等特になし

○事務連絡

今後の予定

- ・第2回学校運営協議会 令和2年11月中・第3回学校運営協議会 令和3年2月中の
午前で調整

(6) 閉会 校長あいさつ

(松浪校長) 開催のお礼。コロナの状況の中でも工夫して学校行事を行っていきたい。